

事務事業名		土砂等埋め立て対策事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課
	政策	3 環境にやさしいまちづくり					担当係	環境保全係	担当課長名	大越 裕之	
	施策	2 良好な生活環境と豊かな自然環境の保全					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 良好な生活環境の保全					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	7733	一般	4	1	6	土砂等埋め立て対策事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H12年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市土砂等の埋め立て等による土壌の汚染及び災害の発生に関する条例					
	実施方法		直営			事業分類		許認可・審査事務			
	リーディングプロジェクト		該当なし			市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
土砂等の埋め立て等による土壌の汚染と崩落や流出等による災害を未然に防止するため、許可、届出や無届行為の指導などを実施する。			許可を要する行為に係る、相談、許認可、完了検査などを実施 規模未満(500㎡)の行為に係る相談、確認 無届行為のパトロール							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
埋立件数			件	45	36	50				
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
土砂の埋め立て行為者			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
許可申請					件	5	5	5		
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
土砂の埋立行為による土壌の汚染と災害の防止			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
汚染及び災害の発生					件	0	0	0		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
良好な生活環境が維持されている			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
河川・地下水の環境基準達成率					%	97.8	99.4	100.0		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	30		124					
	一般財源	千円								
	事業費計(A)	千円	30	0	124	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			8報償費	30	8報償費	0	8報償費	16		
			12役務費	0	12役務費	0	12役務費	108		
人件費	人	1	1	1						
のべ業務時間	時間	1,200	1,200	1,200						
人件費計(B)	千円	4,669	4,729	4,729	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,699	4,729	4,853	0	0				

事務事業名	土砂等埋め立て対策事業	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課	担当係	環境保全係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	土砂の埋め立てによる土壌汚染等への懸念から、栃木県において条例が制定されたのを受け、市においても平成12年度に条例を制定し実施しているものである。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	許可制度も十分に認知され、適正な埋立て行為が行われている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市民からの通報に対し、条例に基づき立入り調査を実施しているため、安心できるとの評価がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外とする。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	良好な生活環境の保全に結びついている。
	結びついている		
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	市の条例に基づく許認可、指導監督である。
	市が行わなければならない		
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	条例により対象等は限定されている。
	妥当である		
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	相談業務以外にもパトロール等を実施し、無届行為の未然防止を図っている。
	成果向上余地がない		
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	類似事務事業はない	理由・改善案	
	*類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	審査、パトロール等人的対応が中心である。事業費は、土質構造検討委員と土壌分析に係る費用のみであり、削減の余地はない。
	削減の余地はない		
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	環境汚染や災害の未然防止のための規制であり、受益者は存在しない。
	受益者負担を求める必要がない		
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 「佐野市土砂等の埋め立て等による土壌の汚染及び災害の発生に関する条例」に基づき常に対応しなくてはならない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					